

建築基準法第12条第5項の規定に基づく

工事監理報告書(木造関係)

年 月 日

町田市建築主事 様

代表となる 工事監理者	事務所名	()級建築士事務所()登録 第 号		
	所在地	電話		
	氏名・資格	()級建築士(大臣・知事)第 号		
工事施工者	施工者名	建設業許可 (特定・一般) 第 号		
	所在地	電話		
	氏名	(法人にあっては、その事務所の所在地、名称、代表者の氏名)		
建築主	住所	電話		
	氏名	(法人にあっては、その事務所の所在地、名称、代表者の氏名)		

下記の建築物は建築基準法並びに、これに基づく命令及び条例の規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告します。

工事名													
建築場所		東京都町田市											
確認済証 交付年月日		年 月 日 第 号				構造計算		ルート1 、 ルート2 、 ルート3 仕様規定、その他 ()					
工事概要	構造 種別	在来軸組工法 ・ 枠組壁工法 その他 ()				工事種別		新築・増築・その他 ()					
						建築面積		㎡		延べ面積		㎡	
	階数	地上 階、地下 階				最高の高さ		m		軒の高さ		m	
確認済証 交付後の 設計変更	有・ 無	内容	(建築基準法第6条第1項、若しくは第18条第3項の計画変更又は建築基準法第12条第5項の報告)										
		1	年 月 日 第 号										
		2	年 月 日 第 号										
支持地盤						支持力		kN/㎡					
基礎	直接基礎	独立基礎、布基礎、べた基礎				液状化対策		有 ・ 無					
	杭基礎	□打ち込み杭(RC ・ PC ・ PHC ・ 鋼管)											
		□認定・評定工法 ()				番号		年 月 日 第 号					
		□その他 ()											
リ コ ン ト ク	基 礎	Fc : 18 ・ 21 ・ 24 ・ 27 ・ 30 ・ 33 ・ () N/mm2											
		() Fc : 18 ・ 21 ・ 24 ・ 27 ・ 30 ・ 33 ・ () N/mm2											
鋼 材	鉄 筋	SD		295 ・ 345 ・ 390									
		継手		ガス圧接・特殊継手 (D ～)									
	鋼 板	SS400 ・ 490、STKR400 ・ 490、その他 ()											
特殊な材料・構法等		有 ・ 無		認定・評定		大臣・建築センター							
番 号		年 月 日 第 号											
〔認定・評定内容〕										工事監理者総合所見 ※2			
工事監理組織 ※1													

検査・確認事項について、
□にチェックを入れてください。

【基礎】

☐ 1. 設計支持地盤を確認した。(層)

☐ 2. 基礎杭の品質、位置(偏心距離)、径、長さ、本数、及び支持力を確認した。

☐ 3. 基礎の配置、形状、鉄筋径、定着長、及び配筋の本数を確認した。

☐ 4. 地中梁の貫通箇所的位置及び補強を確認した。

☐ 5. 型枠寸法及びかぶり厚さを確認した。

☐ 6. コンクリート打設状況を確認し、品質管理が適正に行われていることを確認した。

☐ 7. 打設後の養生(コンクリート養生及び型枠、支柱の取外し等)が適正に行われていること確認した。

☐ 8. アンカーボルトの径、定着及び配置を確認した。

【在来工法】

☐ 1. 構造耐力上必要な部分に使用する軸組材(柱、梁、筋違い、その他の耐力壁等)、床材及び屋根下地材の品質、形状、寸法及び位置を確認した。

☐ 2. 柱(通し柱、管柱)、間柱、梁、桁、土台その他の横架材、筋違い及びその他の耐力壁(構造用合板等)の形状、寸法及び配置を確認した。

☐ 3. 柱(通し柱、管柱)と梁との緊結及び緊結方法(Z金物及びC金物等の工法による)を確認した。

☐ 4. 柱(通し柱、管柱)及び梁と筋違いとの緊結方法(Z金物及びC金物等の工法による)を確認した。

☐ 5. 柱(通し柱、管柱)と土台その他の横架材との緊結及び緊結方法(Z金物及びC金物等の工法による)を確認した。

☐ 6. 柱(通し柱、管柱)、間柱、梁、桁、土台その他横架材と構造用合板との緊結に()
によって間隔(cm)以下に打ち付けたことを確認した。

☐ 7. ホールドダウン金物の品質、形状、位置、緊結及び緊結方法を確認した。

☐ 8. 床根太、床梁、胴差との取り合い及び床下地の取付けを確認した。

☐ 9. 小屋組の形状、寸法、緊結及び緊結方法を確認した。

☐ 10. 使用金物の品質、形状、寸法、位置、緊結及び緊結方法を確認した。

☐ 11. 防蟻及び防腐措置を地盤から(m)までしたことを確認した。

【枠組壁工法】

☐ 1. 構造耐力上必要な部分に使用する枠組材の品質、寸法及び配置を確認した。

☐ 2. 構造耐力上必要な部分に使用する床材、壁材及び屋根下地材の品質及び寸法を確認した。

☐ 3. 構造耐力上必要な部分に使用するクギ及びネジの品質及び寸法を確認した。

☐ 4. 土台、床根太、端根太及び側根太の品質、寸法及び配置を確認した。

☐ 5. 床の各部材相互及び床の枠組と土台又は頭つなぎとの緊結を確認した。

☐ 6. 壁の各部材相互及び壁と床、頭つなぎ又はまぐさ受けとの緊結を確認した。

☐ 7. 小屋組各部材相互及び小屋組の部材と頭つなぎ又は屋根下地との緊結を確認した。

☐ 8. 使用金物の品質、寸法及び位置を確認した。

☐ 9. 防蟻及び防腐措置を地盤から(m)までしたことを確認した。

【品質・強度】

下記の品質、強度を以下の方法により検査、確認した。

☐ コンクリート

☐ 四週圧縮強度試験

☐ 配合計画書

☐ 納品伝票

☐ JIS規格適合証

☐ 鉄筋

☐ ミルシート

☐ 引張試験

☐ 接合金物

☐ 納品書

☐ 受入記録

☐ 杭及び地盤改良

☐ ()

☐ その他

検査箇所	検査月日	指摘事項(要写真)※3	是正月日	是正内容(要写真)※3

記入上の注意

・ 提出及び記入は、原則として**工事監理者**が行ってください。

※1 工事監理組織の欄は、工事の監理体制を具体的に記入してください。

※2 工事監理者総合所見の欄は、管理目標とその結果に対する所見を具体的に記入してください。

※3 指摘事項と是正内容の欄は、工事監理者が検査を行い、指摘した事項とその是正内容を記入してください。

その他

・ 施工写真、施工記録、データ(ミルシート、各種試験結果等)を添付してください。

2025年4月 改訂